

平成 25 年度環境技術実証事業
地球温暖化対策技術分野（照明用エネルギー低減技術）
第 1 回技術実証検討会
議事要旨

1. 日時 2013（平成 25）年 9 月 25 日（水）15：05～16：30
2. 場所 鉄鋼会館 706 号室
3. 出席検討員 望月検討員（座長）、伊藤検討員、山本検討員、千田検討員、加賀城検討員（西村検討員代理）、吉田検討員
4. 配付資料
資料 検討会 1-1：技術実証検討会 検討員名簿
資料 検討会 1-2：技術実証検討会設置要綱（案）
資料 検討会 1-3：検討項目等計画書（案）
資料 検討会 1-4：平成 25 年度環境技術実証事業実施要領
資料 検討会 1-5：環境技術実証事業地球温暖化対策分野（照明用エネルギー低減技術）実証試験要領（案）
資料 検討会 1-6：実証試験要領の改定について
資料 検討会 1-7：実証申請書様式（案）一式
資料 検討会 1-8：年度スケジュール（案）
資料 検討会 1-9：ETV セミナー開催のご案内

非公開資料

5. 議事

会議は公開にて行われた。

(1) 開会

環境省総合環境局総務課環境研究技術室 吉川室長より挨拶がなされた。

(2) 審議事項

i) 技術実証検討会の設置について 【資料 1-1～資料 1-3】

事務局より、資料 1-1～資料 1-3 に基づき技術実証検討会の設置について説明した。審議開始にあたり、座長の選任を行った。事務局より望月検討員を推薦し、承認された。

ii) 実証試験要領の見直しについて 【資料 1-4～資料 1-6】

事務局より、資料 1-4～資料 1-6 に基づき実証試験要領の見直しについて説明した。資料に対してなされた議論は以下のとおりであった。

【意見・質疑応答】

- 表 4-1（実証項目及び参考項目）の「照明消費電力」は、それぞれ「照明消費電力量」の方が良いのではないかと。また、「年間照明消費電力量削減率」の単位は、「W/m²」の方が良いのでは。
修正する。
- 表 4-1 の「色度」、「色温度」および「相対分光放射強度」は、光源の特性ではなく、器具の特性に含めた方が良いのでは。
修正する
- 表 4-1 および試験方法に、消費電力について追加した方が良いのでは。

追加する。

- 表 4-2 (用語の定義) の「全光線透過率」は、本体のどこと関係しているのか。今年度から、実証項目で無くなったので、削除する。
- 表 4-2 に「可視光線透過率」などの定義がないのではないかと追加する。
- 表 4-4 (想定するオフィスモデル) および表 4-6 (想定する工場モデル) の備考の記載は、昼光の影響を除外するという意図は分かるが、現実的な記述ではないので、人工照明だけの評価する旨の表現に修正した方がよいのでは。修正する。
- 表 4-5 (室内面の反射率設定値) および表 4-7 (室内面の反射率設定値) に夜間における室内側窓面 (ブラインド等で遮蔽) の反射率を追加した方がよい。追加する。
- DIALux でエネルギー評価をするという点が大きな変更点なので、DIALux の概要が分かる資料を参考資料として追加すると良いのでは。また、DIALux のバージョンを記載した方がよい。追加する。

【結論】

- 上記意見をもとに、実証試験要領 (案) を修正する。

iii) 実証対象技術の公募について 【資料 1-7】

事務局より、資料 1-7 に基づき実証対象技術公募について説明した。

【結論】

- 内容は承認された。

iv) 年度スケジュールについて 【資料 1-8】

事務局より、資料 1-8 に基づき年度内に予定するスケジュールを説明した。

v) その他 【資料 1-9】

事務局より、資料 1-9 に基づき次回日程および今後の運営において説明した。

【説明内容】

- 次回日程：11月25日(月)17-19時 [非公開で開催予定]
- 当分野に係る ETV 事業セミナーを 10月16日(水)に開催する。開催に係る情報は、ETV 事業サイトおよび実証機関のウェブサイトに掲載している。

(3) 閉会

以上

(文責：環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室)